



大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-525-5232
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
http://www.biwa.ne.jp/ffs/
E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

3.11各地で原発反対の集会

大津で原発反対の集会 「はいはい原発守るうびわ湖」

東日本大震災と福島第一原発事故から丸1年目の3月11日、原発廃止や琵琶湖の環境保全を目指す市民集会「はいはい原発・守るうびわ湖」が、大津市の膳所公園で開かれました。早春の日差しが注ぐ琵琶湖岸の会場には、プラカードや横断幕などを手にした1千人を超える参加者が集い、滋賀銀行従業員組合からは先輩組合員を含め13人が参加しました。



集会発起人の大阪市立大の畑明郎元教授から「福井原発の再稼働をやめさせ、はいはい原発・守るうびわ湖」の運動を近畿全域に広げよう」と挨拶がされました。ステージでは、被災者市民団体代表など10人のリレートークが行われ、会場の参加者全員で黄色の風船を頭上に掲げ「はいはい原発・守るうびわ湖」をアピールしました。

参加者は集会後に二手に分かれ、パルコ大津店とJR膳所駅前まで行進して、脱原発を訴えました。

職場の声

違法な不払残業
いつまで続ける

見回り当番の時間を役員が事前に17時15分と書き、実際に見回りは17時とその後、その間パソコンを落として不払い残業していることは前号の波紋に掲載されましたが、今度は見回りは17時16分に本当にするのですが、実際戻行しているのは、ずっと後です。同じようにパソコンを落とし、あらかじめアウトプット資料を出力しておいて、不払い残業が起きています。



本店は人材の倉庫では「ない」と思っています

去年から県庁支店が年度末が忙しいので、本店から誰か一人助動にいかなければなりません。去年は「パートさんが退職されたから」とか言っておられたのですが、「今年も」と言われています。大津市役所出張所も今年4月のはじめにパートさんの助勤がほしいと申し出があり一人いかれそうです。本店も忙しいのに大変ですから本部でなんとかしてもらいたいですね。人事からは「一時的なものなので同じ班内でなんとかしなさい」と言われます。その分人の余裕があるのなら良いのですが、ないので応援というのは、本店は人材の倉庫ではないと思います。

湖北の仲間はいらぬがへ

同日、福井県内の反原発団体などが呼び掛けた「3・11さよなら原発福井県集会inつるが」が、敦賀市のプラザ萬家で開催されました。この集会には、福井県内外から約1200人が集まりました。組合員と先輩組合員は「湖北原発ゼロの会」42名の仲間と共に参加しました。

主張

1月20日に開催された新春労使懇談会で組合側から述べた意見を幾つかに分けて掲載しました。

東日本大震災では、様々なことが明らかになった。私たち金融機関の関連では、メガバンクと違って地域金融機関はその地域から抜け出すことはできない。だからこそ金融という本来の機能を果たして地域や地域経済を大切に守っていかないと、震災でなくとも地域が壊滅してしまいう地域金融機関

本来の機能を果たして 地域や地域経済を守る

明らかに成る一方で、非正規労働者解雇を許さないなど闘う組合の存在が浮き彫りになっている。中小企業の経営者の中には地域を守るという気概を持って、労働者を解雇

発の崩壊は国の対応のまずさや東京電力という巨大企業の隠蔽体質と無責任な経営姿勢が明らかになった。一方で、脱原発の動きも急速に進んだ。これは、組織や政治的な

信条と関係なくして起きている。これまでの原発安全神話が崩壊し、原子力は人類が制御できない危険なものだという意識の表れである。世界でも多くの人々が福島原発を教訓として脱原発を進めているのは報道されている通りである。

昨年他にも世界各地で自然の圧倒的な存在感を見せ付けられたのではないかと。日本でも海外でも洪水被害などまさしく「自然の反撃」と思われる出来事が起こった。環境に取り組む当行としても憂慮するべき事態ではないだろうか。

支援の市民報告集も

なお3月11日には、震災支援の報告集なども開催されました。

